袋小路（1966）

CUL-DE-SAC

メディア	映画
ジャンル	サスペンス
製作国	イギリス
色彩	B&W
時間	112分
初公開日	1971/03/13
公開情報	ＡＴＧ
リバイバル	1998/06［キネティック］

【解説】

ポランスキーの長篇三作目はいよいよ神経病めいて、この作家は本性を露にしている。満潮時には外界と遮断される孤島の古城に若く美しい妻（ドルレアック）と住む初老男（プレザンス。不気味に好演）。この閉ざされた世界で理想の暮らしを営もうというわけだが、そこへ見るからに凶悪そうな面相の何やらしでかして逃亡中の男（スタンダー）が瀕死の相棒を連れて闖入。この浪藉者にしたい放題されてただ黙っている主人に女房の方はとっくに愛想を尽かしており、島に遊びに来た一家の青年と密かに通じている。悪漢は意外と素朴な所もあって、妻と泥酔したりするクセに手を出しはしない。けれども、彼女は夫に彼を殺させ、半狂乱の夫を置いて島を出て行ってしまうのだ。現代人のナントカと説明をするのも空しい。この歪んだ人間把握は全くポランスキー独自のものだ。モノクロの映像美が秀逸。

【クレジット】

監督	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski
脚本	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski
	ジェラール・ブラッシュ	Gerard Brach
撮影	ギル・テイラー	Gil Taylor
音楽	クリストファー・コメダ	Christopher (Krzystof) Komeda
出演	ドナルド・プレザンス	Donald Pleasence
	フランソワーズ・ドルレアック	Francoise Dorleac
	ライオネル・スタンダー	Lionel Stander
	ジャクリーン・ビセット	Jacqueline Bisset
	ジャック・マッゴーラン	Jack MacGowran

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.